



2009年6月のマンスリーNEWS

■コラム

■6月のアークル

皆さんいかがお過ごしですか？景気の悪化も底を打ったようで、業績も少しずつ戻り始めてきたのでしょうか？

当社は昨年7月に始まったタバコ自販機のタスポ導入の影響を受け、この1年かなり苦労しました。そしてさらに追い討ちをかけるように、秋のリーマン・ショックで景気後退と大変な1年を過ごしてきました。そして、来月はタスポ導入1年が経ちます。

私達はこの1年間、タバコ自販機横の飲料の売上げ減少の影響を食い止めようと、必死で頑張ってきました。ということで、この7月以降はタスポの影響がなくなるということで売上げを回復させなければなりません。この1年ほど、自販機ロケーションの在り方を考えさせられた年はありません。

例えば、会社・工場関係は景気後退で軒並み売上げダウン、タバコ屋さんもタスポの影響で売上げダウン、と今まで売っていたロケーションが苦しくなり、売れる自販機のロケーションはどういうものなのか？考えられる状況になっています。



今売れている自販機はどんな自販機なのでしょう。そうです、皆さんおわかりですよ。売れている自販機は、低価格販売の自販機なのです。

この景気後退は私達自販機業界をも一変させたのかもしれない。自販機は定価販売が当たり前なんていう時代は終わったのかもしれない。このような状況下で、いかに利益を確保し商売をしていくのか？難しい課題を突きつけられている自販機業界です。

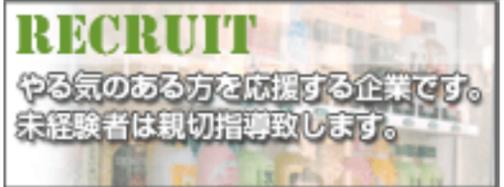
また、自販機は今後環境問題という点でも見ていかなければなりません。電気代の大幅削減出来るような自販機が待ち望まれます。

この世の中の動きが非常に早く、いかに機敏に対応できるかが今後企業の生き残り戦略には必要となるでしょう。

■コラム

■5月の売れ筋商品

DYDO売れ筋ベスト5	SUNTORY売れ筋ベスト5
1位 ダイドブレンドコーヒー	1位 ボスレインボーマウンテン
2位 デミタスコーヒー	2位 ボス贅沢微糖
3位 Mコーヒー樽	3位 ボス無糖ブラック
4位 ウルトラサイダー350缶	4位 ボスカフェオレ



*やっとPET系が上位に入ってきました。これからはPET系が上位を独占か？

■コラム

■JT・注目商品 JTの復刻堂みたい・・・

「スーパーレモンソーダ」



1980年代後半の小中学生らが夢中になった「スーパーレモンキャンディー」をモチーフにした炭酸飲料でキャンディーの製造メーカーであるノーベル製菓と共同開発をした商品です。昔食べた、そのキャンディーは口に入れると強烈に酸っぱさが口に広がるのを思い出します。このスーパーレモンソーダの酸度は他社のレモンソーダに比べ8倍もあり、その観点から190ml缶になったのでしょうか。

20年前に口にしたあの味が、まさに飲料でよみがえってきました。

30歳台のあなたには「懐かしさ」を感じるのではないのでしょうか？

皆さん、是非一度お試しあれ！！

■コラム

■大爆笑!!熱海五郎一座を見てきました

伊東四郎一座・熱海五郎一座 合同公演

「日本映画頂上決戦・銀幕の掟をぶっとばせ！」

やばい！！面白すぎです！！伊東四郎一座と熱海五郎一座が合体しただけですごいのに、喜劇界が誇るコメディエンヌ・中村メイコと歌謡界が誇る歌姫小林幸子という強力助っ人で脇を固めています。

出演者の面々

伊東四郎、三宅裕司、小林幸子、中村メイコ、渡辺正行、ラサール石井 小宮孝泰、小倉久寛、春風亭昇太、東貴博、伊東孝明、河本千明



今回このプラチナチケットを手に入れ、初日公演に行きました。会場は青山劇場。やはり想像通りお客さんは超満員。佐藤B作など有名人もちらほら見えます。

今回は久々コント赤信号が勢ぞろいするので、往年のコントを見せてくれるのか？期待していました。やってくれます。照れるようにしっかり往年の懐かしいコントを見せてくれました。また三宅裕司と小倉久寛のからみ、東貴博と伊東孝明の2世コンビのからみなど見所満載です。また滑舌（かつぜつ）の悪さを突っ込まれる春風亭昇太もなかなかです。最後は紅白歌合戦の小林幸子をしのぐ演出で、本人がやってくれます。

喜劇というのはやはり素晴らしいと確認させてもらいました。時間にして2時間半始めから最後まで笑っぱなしで、途中涙が出るほど笑わせてもらいました。

■コラム

■アジアの時代が明確に

日経新聞 5/20号より

どうやら、中国を始めとしたアジア新興国の時代がやってきたのかもしれない。景気回復が遅れる中、企業のアジアシフトが明確になってきたようです。

中国四川省にある成都イトーヨーカ堂2号店。毎朝8時ごろには、1時間後の開店を待つ300人以上の行列が出来る。国内外にある約190店のイトーヨーカ堂の中で最も利益を稼ぐ。

親会社であるセブン&ホールディングスの2009年2月期連結決算で、中国事業の営業利益は4%増の23億円と着実に成長。中国の店舗数を3年以内に現在の11店から17店に拡大する計画だ。

「世界の利益地図」が大きく変わろうとしている。これまで成長を支えてきた欧米が大きく落ち込み、新興国の需要が企業収益を支える構図が鮮明になってきたからである。

日本の主要輸出企業30社を分析すると、09年3月期に欧米で稼いだ売上高は43兆円と22%減少した。「欧米の不振が本格化するのはいずれから」（鈴木修・スズキ会長）とも言われ、今期も大きく落ち込む懸念がある。

一方、新興国は底堅さが目立つ。同じ30社のアジア・オセアニアの売上高は26兆円（10%減）。全体の売上げに占める割合は23.1%に上昇し、欧州の15.5%、米州の22.7%を上回った。

典型はホンダの決算。09年3月期にアジアなど新興国で2400億円近い営業利益を上げた。中国が大半を占める持ち分法利益も加えると新興国で稼いだ実質的利益は3000億円にのぼる。これに対して、日本の輸出不振や円高で1616億円の営業赤字。北米と欧州は黒字だが、合計で900億円にすぎない。

「中国、アジアでどれだけ稼げるかが勝負の分かれ目」（コマツ・野路国夫社長）。収益地図の激変を写し、今期は新興国シフトが一段と鮮明になる。

ブリジストンは「中期的には中国が最も成長する。」（高橋康紀執行役員）と判断、約100億円を投じて中国で乗用車用タイヤの生産能力を1.5倍に高める。日米欧の乗用車用の投資は減らすが、中国向けは増やす見込みだ。

中東に商機を見出す動きもある。ユニ・チャームは昨年、サウジアラビアで生産能力を拡大。高機能の紙おむつや生理用品を拡販し、同国の事業は今期も増収増益を見込む。国際通貨基金（IMF）はサウジアラビアなどの湾岸六産油国の10年の実質国内総生産（GDP）成長率を4.2%と予測する。

もともと、今の新興国で収益基盤を築くことは簡単ではない。数少ない「成長の地」には海外勢も大挙して参入、力を増してきたうえ、現地企業との競争も激しくなってきたからだ。

中国の自動車市場では、独フォルクスワーゲンが十数%のシェアを握り、トップを走る。08年の販売台数は初めて100万台を超え、母国ドイツの販売台数と肩を並べる規模だ。東風汽車集団が乗用車で初の自社ブランド車を発売するなど、現地メーカーも着実に力をつけている。

新日本製鉄やJFEスチールはタイ政府が掲げた高炉誘致計画に手を上げたが、政情不安が続く計画は遅れがち。高炉建設計画がいったん白紙に戻る可能性もある。カントリーリスクという古くて新しい課題だ。奔流となった新興国シフトだが、舵とりの巧拙が問われる。

皆さんはこの記事を読まれてどう感じましたか？日本の製造メーカーはたくさんの中小企業に支えられて成立してきました。ここへきて本格的に新興国シフトされ、それについていける中小企業がいいですが、ついていけないとなるとどうなるのでしょうか？国内需要の落ち込みに加え、大手メーカーが国内に力を入れていかないと、今後益々厳しい状況が続く日本が予想されます。

私達、中小企業はジワジワと「行く先の決断」が迫られてきたように思います。

■コラム

■激ウマ!B級グルメ情報 天井 第21弾

今月号では江戸前天井を紹介したいと思います。場所は浅草です。皆さん浅草の天井と言って思い浮かべるのは、伝法院通りの「浅草・大黒家」でしょう。またその近辺で有名なのは、吉原の「伊勢屋」でしょう。どちらも、天井の名店でいつも大行列しています。しかし、私はそんな誰でも知っているお店を紹介するような、野暮なことはいたしません。今回紹介するのは、そんな名店にも負けない美味しさだと思います。

そのお店は「季節料理・富士」と言います。場所は浅草ビューホテルの裏手にひっそりたたずむようにあります。今回は浅草・三社祭でにぎわっている中の訪問となりました。だからと言って決して行列していることはありません。

店内は木の素材を生かした民芸調で、店内厨房の前にカウンター6席、4人掛けのテーブル席が1卓あり、奥には小上がりの座敷があつて、テーブルが3卓設けられています。そしてとても目をひくのは独特な太い毛筆で書かれた味わいのあるお品書きです。



ちょうど、お昼に訪問したのでランチメニューのみになります。それが今回紹介する天井です。メニューは4品目のみとなります。

上天井	900円
穴子天井	1800円
小柱かき揚げ丼	1800円
特上天井	2000円



所狭しと貼られたお品書き



上天井



特上天井

その中でも、もっともオススメなのは900円の上天井です。サクサクの穴子、プリプリの海老、こりこりの小柱のかき揚げ、江戸前の胡麻油でさらっと揚がっています。江戸前の天井と言って思い浮かべるのが、やや甘めの濃いタレで食後が胸やけがするイメージですが、この天井はすこしあっさり目に感じます。

この旨さ、ボリュームで900円はかなり安いと思います。接客も丁寧でまた行きたくなるお店の一つです。



店名 富士

住所 東京都台東区西浅草
3-14-9
TEL 03-3844-6940



三社祭でにぎわう、浅草でした・・・

裁判員制度が5/21よりスタートしました。裁判員制度の内容はともかく、裁判員制度を考える上で興味深く、面白い映画と小説を2つ紹介します。

まず、映画から。「12人の怒れる男」です。ストーリーはこんな感じ・・・「ロシアのとある裁判所で、センセーショナルな殺人事件に結論を下す瞬間が近づいていた。被告人はチェチェンの少年、ロシア軍将校だった養父を殺害した罪で第一級殺人の罪に問われていた。検察は最高刑を求刑。有罪となれば一生、刑務所に拘束される運命だ。3日間にわたる審議も終了し、市民から選ばれた12人の陪審員による評決を待つばかりとなった。

彼らは改装中の陪審員室代わりに指定された学校の体育館に通されて、全員一致の評決が出るまでの間、携帯電話を没収されて幽閉される。バスケットボールのゴールや格子の嵌められたピアノといった備品に囲まれた陪審員たち。

冷静にことを進めようとする男に促されて、12人の男たちは評決を下すためにテーブルを囲んだ。審議中に聞いた隣人たちによる証言、現場に残された証拠品、さらには午後の予定が差し迫っている男たちの思惑もあって、当初は短時間の話し合いで有罪の結論が出ると思われた。

乱暴なチェチェンの少年が世話になったロシア人の養父を惨殺した——そのような図式で簡単に断罪しようとする空気があり、挙手による投票で、ほぼ有罪の結論に至ると思いきや、陪審員1番がおずおずと有罪に同意できないと言い出した。陪審員1番は自信なさげに結論を出すには早すぎるのではないかと疑問を呈し、手を挙げて終わりでもいいのかと、男たちに問いただした。話し合うために、再度投票を行おうと提案。その結果、無実を主張するのが自分ひとりであったなら有罪に同意をするとはいだした。無記名での投票の結果、無実票が2票に増える。新たに無実票を投じたのは、穏やかな表情を浮かべる陪審員4番だった。ユダヤ人特有の美德と思慮深さで考え直したと前置きし、裁判中の弁護士に疑問が湧いたと語る。被告についての弁護士にやる気がなかったと主張した。この“転向”をきっかけに、陪審員たちは事件を吟味するなかで、次々と自分の過去や経験を語りだし、裁判にのめりこんでいく……。」

次は小説です。楡周平の「陪審法廷」。ストーリーは・・・

「物語は、アメリカ・フロリダ州タラソタの高級邸宅街の庭付きの立派な邸宅のダイニングルーム、夕食前に神に感謝を捧げる祈りの言葉を終える場面から。

夜勤に出掛ける養母リサを引き止めたい、15歳のパメラ・クロフォードは、3年前から同じダイニングテーブルを囲む養父クレイトンに、養母の不在時にレイプ(性的虐待)を受けていた。深い心の傷。恐怖、痛み、憎しみ、絶望、嫌悪、憎悪、苦悩、苦悶、、、

パメラは、グアテマラのスラムに生まれ、貧困と絶望の淵から数奇な運命の元に、アメリカへの不法入国を果たし、医者と看護師の裕福な夫妻に養子として受け入れられていた。養父養母に対する愛情と、深い感謝の念、事実を明らかにすることで損なわれるバランス関係。それでも、少女の心の内には、圧倒的に耐え難い事実、現実。クレイトンを殺さなければ、私自身が死んでしまう。

隣家に住むパメラと同級生の牧田研一の父も、クレイトンと同じ医師であり、日本のシステムを飛び出した。研一は、クロフォード夫妻の信頼と愛情をも受けていた。日本からの、ある意味では移民であるが故に、パメラとは、互いに合い通じるものがあり、卒業を機に離れ離れになる時の訪れと共に、高まる感情、愛。

パメラは、研一に、打ち明けてしまう。怒りに震える研一。パメラを愛しているからこそ、クレイトンを信頼し愛して尊敬していたからこそ、裏切られた、込み上げる怒り、憎悪。卒業パーティーの夜が、計画実行日。銃の引き金を引く研一。後悔はない。正義を貫き、愛するものを守った。

事件を知り、裁判を見守る研一の父と母、凄腕弁護士ロビンソン。空手道場に通う研一が好奇心から服用していたステロイド(薬物)による心神喪失に「無罪」の望みを賭ける。対する検事のコルバーは、州知事を狙う大物。圧倒的正義感と、その力を見せ付けたい。

12名の普通の陪審員。そのひとり、日系人のユキエ・テンブルの夫ゲーリーは日米両国の大学教授、男と女の子がひとりずついて、孫には男1人女2人。日本の曖昧さと「情」と。陪審員は、教



師、トラックの運転手、コンビニの店員、看護師、主婦、、、それぞれの状況、考え方、捉え方は当然に異なる。だから、陪審制度、良くも悪くも。裁判を、ショウやゲームと捉える感覚、とどのつまり、陪審員を選択するところからゲームは開始され、有能な弁護士はあらゆる手段を行使して、自らのゲームを有利に運ぶ努力をし、ショウの見せ場を盛り上げ、多額の報酬と名誉を手にする。高度資本主義経済の悲哀。それも現実。さて判決は？・・・」

さて、皆さん自分が陪審員だったら？これは自分の生き方や信条を問われているような気がしてなりません。

■コラム

■アークル・積み立て旅行

当社では数年前に社員旅行という行事を廃止しました。その代わりに、各個人個人が積み立てをし、毎年春に好きなところへ旅行に行くという企画をしています。今年は北海道班、福岡班、沖縄班と3班に分かれてそれぞれ思い思いに楽しんできました。



ゴルフチームのワンシーン

北海道班・K所長のコメント

北海道班の参加者はサントリー担当者Kさんを含め6名です。市外観光チームとゴルフチームに分かれて思い思いに楽しみ、夜はすすきので合流です。

グルメは言うまでもなく美味、そしてナイトライフ(?)

私もこれで4回目の札幌になりますが、今回が今までで一番景気の悪さを感じました。

とても楽しい旅行。又来年もと思っています。しっかり業績を上げてね・・・。

沖縄班・ほとんど飲みっぱなしのH所長のコメント

沖縄班は私を含め4名。毎回の事ながら珍道中の旅行となりました。宿泊ホテルはザ・ビーチタワーの23F、最上階です。素晴らしい景色に一同感動！

瀬底島ではエメラルドブルーに輝く海と珊瑚と美しい小魚に又々一同感動！

私とえば2日間オリオンビール飲みっぱなしで1ケースは飲んだかもしれません。

来年も沖縄へ！オリオンビールで乾杯～！！

福岡班・M部長のコメント

「グルメ天国の福岡」

博多ラーメン、もつ鍋、水炊き、一口サイズの鉄鍋餃子や玄海灘で捕れる新鮮な魚料理などローカルグルメ盛りだくさん。また福岡ならではの情緒を楽しむのなら夜の屋台がオススメ！！

今回は餃子、ラーメン、屋台おでん、海鮮居酒屋と4軒のはしごです。それでも名物料理は食べきれない。また福岡を味わうグルメの旅、トライしたいと考えています。

それにしても、昼ゴルフ、夜中洲はハードの旅です。帰りの空港で参加者の疲れきった顔と、楽しみを満喫した顔はいいものです。



ザ・ビーチタワー沖縄23Fからの景色



博多中洲の屋台

■コラム

■アークルの人達ブログ・絶好調連載中です!

ただいまブログは8名が更新中です。

・所長のブログ（小田原H所長）

NEW・マネージャーの部屋へ

・情報最前線（海老名K所長）

NEW・つんつるてんSTORY

・販促課オオクワ80mm

・産地直送！新鮮ネタ（海老名Nチーフ）

NEW・パソオタの独り言（パンドラの箱を開けて最後に出てくるのは・・・）



週末の原宿に行ってみました。
話題のForever21の混み具合はこんな感じ！



第21回アークルコンペが愛鷹600 GCで開催されました。今回より、当社社員も入賞の対象となり優勝をかつさらったのは・・・？

天気も良く、皆さん楽しんで帰られました。賞品の「干物」は評判が良かったようです。

今月は以上です。又、来月号も宜しくお願いします。

■2008年度のマンスリーNEWS

➡	2009.05	アークル	マンスリーNEWS
➡	2009.04	アークル	マンスリーNEWS
➡	2009.03	アークル	マンスリーNEWS
➡	2009.02	アークル	マンスリーNEWS
➡	2009.01	アークル	マンスリーNEWS

■マンスリーNEWSアーカイブ

➡	最新	マンスリーNEWSトップページ
➡	2008年度	2008年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2007年度	2007年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2006年度	2006年のマンスリーNEWSアーカイブ

➡	2005年度	2005年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2004年度	2004年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	番外編	マンスリーレポート番外編

© Copyright 2008 ARUCRU co.,ltd All rights reserved.

